

FESTA! CROSSROAD!

主催のクロスロード・アクターズ・クラブのこと

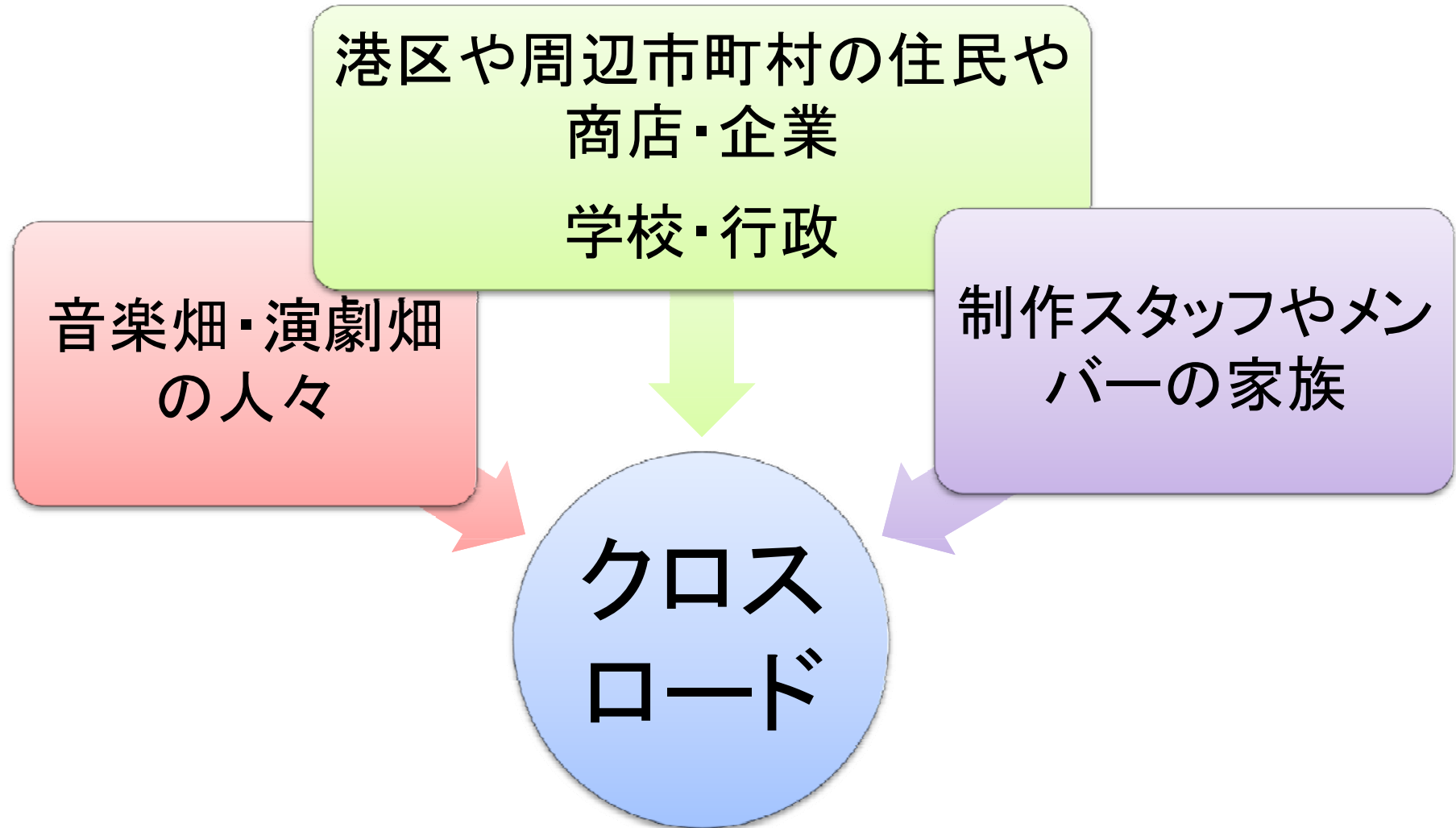
今年、クロスロードアクターズクラブは、結成20周年を迎えました。

この20年間の演劇活動の流れや
演劇のこと、稽古のこと、お芝居にまつわることを
この機会に見ていただこうと思います。

クロスロードアクターズクラブは主に
お芝居を創って上演するクラブです。



舞台周辺以外にも沢山の協力が・・・



クロスロードアクターズクラブ

さねとうあきら版 銀河鉄道の夜

公開リーディング（読み合わせ） ダイジェスト

本日は、クロスロードアクターズクラブ主催の、音楽ライブコンサート、FESTA! CROSSROAD! にお越しいただき、ありがとうございます。

クロスロードアクターズクラブは、名前のおり、アクター＝役者の集団です。ですが、音楽の生演奏も、毎回の公演で大きな要素となるものであり、クロスロードアクターズクラブの公演には欠かすことのできないものです。なので、今回は、いつもお世話になっている音楽をメインとしたわけですが、せっかく20周年ということもあるので、クロスロードアクターズクラブがこれまで行ってきた集積を写真や当時のチラシ、ポスターなどで御覧いただくと同時に、「稽古では何をやってるのか」をホンの少し公開することにしました。

リーディング(読み合わせ)とは？

- お芝居をやる時に、特に近代の演劇では、まず、台本を出演者で読んでみます。
- そこで演目の全体像、それぞれの役の性格や背景、お互いの関係などを確認していきます。
- 今回は、その最初の稽古に近いものを御覧いただきます。
-
- 同じ「リーディング」という言葉を使うのですが、最近多く行われている朗読の「リーディング」とは違います。
- 本番の演劇公演の為の読み合わせですので、使う本も、演劇の台本です。
- それぞれの役の役者の台詞の他に、
- 「ト書き」といって、舞台の状況や役者の動きなどを指定する注意書きが書かれています。
- 最初の頃の稽古では、そこも読みます。場面がどう変わっていくかを説明します。
- 今回のリーディングでは、
- ジョバンニ
- カンパネルラ
- 銀河の河原の老婆(風の声)
- 銀河鉄道の車掌
-
- の4人が、役として登場します。
-
- それ以外に、
-
- 鉄道の案内(到着案内)の声
- と
- ト書きを読む ナレーション
-
- が加わります。
- 舞台公演では、この二つは姿はなく、
- ナレーションは、声もなくなります。

- 読み合わせの際、想像力の助けとして、
- いくつかの効果音を入れます。
- これも、本番のものではなく、仮の音です。
-
- 今回は、
-
- 汽車の警笛の音を
竹の鳥笛で
- 老婆の登場や風のながれを
能管で
- 時刻を知らせる鐘の音と、
- 時間の経過を
自転車のベルで
- 風車の回る様を
でんでん太鼓で
-
- それぞれ表しています。
- それ以外に、場面事にBGMがあります。

- まず、まほろばというCDから2曲、
- タイトル曲の「まほろば」を
現と夢をつなぐ場面で
- 最後に納められている「水のテーマ」を
銀河の河原の場面で
- 使いました。
-
- この音楽は、奈良の橿原の宮在住の
MIROKUさんという
- 自然の音と楽器演奏のハーモニーを聴かせてくれる音楽家の方の演奏です。
-
- 次に、横浜中華街の中にあるスペインバル
で出会ったギタリスト
- ASADA NAO さんのCDから、
- 悲愴の第2楽章を
カンパネルラの葬送のイメージで
- 使っています。

使用した機材

- 今回の公開リーディング(読み合わせ)は、稽古を見せるというコンセプトから
- 始まりました。また、できるだけ生の音、楽器や声の持つ本来の音を味わおうということで、BGMの音源は、少し特殊なスピーカー(日本MET社のMarty101)を使って流してみました。
-
- クロスロードアクターズクラブのお芝居では、ほぼ毎回、人の声も、効果音も生の音ですので、機械的に処理されたBGM音とは、本来余り相性が良くないのです。一般的なスピーカーだと、もっと迫力のある音がドン！と出るのですが、このスピーカーは、音源によっては音が流れているのに気付かないこともあるくらい、優しく、自然に、演奏された時のままの音を再生してくれます。
-
- 初の試みなので、うまく再現した音を使って聴かせるかは、終わって見ないとわかりませんが、マイクを使わずに行う公演では、力を発揮してくれるツールになるかなと期待しています。

日本エムイーティ어의サイトから

Marty 101
特長

音のベールが剥がされる。
これが、「ヌーディーサウンド」。

生活の中に良質な音を流していたい。
そんな思いから設計開発を始めました。
そして、満足のゆく音を求めて精進から3年、
やっと製品化にごぎつめました。

5cmのユニットを上に向けたタワー型のボディは、
一見、これがスピーカーかと思われる外観ですが、
この無指向性の小さな筐体は見事に良質な音を再生します。
まさにヌーディーサウンド。
充分にご満足いただけると確信しています。

BauXar 29,400円(左右1組・税込)



